

技術評価認定書

評価認定対象技術：NT式I型雨水貯留槽

雨水貯留浸透技術評価認定制度実施要領（1996年6月1日施行）に基づき審査した結果、上記技術を総合治水対策及び水循環再生等に寄与する技術と認め、下記のとおり評価認定する。

2023年 3月 31日

公益社団法人雨水貯留浸透技術協会
会 長 佐藤直良

記

1. 評価認定結果

- (1) 雨水の流出抑制施設として必要とされる機能を有すると認められる。
- (2) 常時荷重及び地震時荷重(レベル1)に対して、必要とされる強度及び構造耐力を有していると認められる。
- (3) 材料及び構造において、必要とされる耐久性を有すると認められる。
- (4) 変形、脱落、沈下等に対し、必要とされる安全性を有していると認められる。
- (5) 維持管理に対し、必要とされる施設や方法が整備されていると認められる。

2. 評価認定の前提

- (1) 提出された資料には事実に反した記載がないものとする。
- (2) 本認定に使用する材料は、適正な品質管理のもとで製造されたものとする。
- (3) 本認定の施工は、標準施工要領に従い適正な施工管理のもとに行われるものである。

3. 評価認定有効期間

自 2023年 3月 31日 至 2028年 3月 30日

4. 申請者

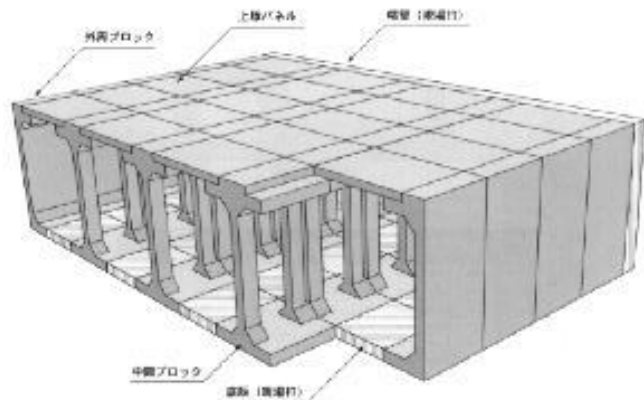
株式会社日東 埼玉県坂戸市千代田5-7-24

1. 評価認定の対象技術

評価申請者 株式会社 日東

対象技術 NT式I型雨水貯留槽

技術の概要 NT式I型雨水貯留槽は、I型断面形状の中間ブロック、コ型断面形状の外周ブロックおよび上版パネルのプレキャスト製品と、底版、端壁等の現場打ちコンクリートとを組みあわせて構築される。雨水を本貯留槽に貯留させることにより、大雨時等の効率的な雨水流出抑制を可能にする。



2. 評価の経緯

雨水貯留浸透技術評価認定制度実施要領（平成8年6月1日施行）に基づき、株式会社日東の技術について評価を行うものである。

3. 評価の範囲

評価の範囲は以下の通りである。

- ① 対象技術の設計方法
- ② 対象技術の施工方法
- ③ 対象技術の維持管理方法

ただし、構造体の設計については、内高 1.5～5.0mまでの8タイプの断面を対象とする。

4. 評価内容

評価にあたり、具体的な内容を以下に示す。

① 機能性

本プレキャスト式雨水地下貯留槽は、雨水流出抑制施設として、雨水を一時貯留させ、下流河川等への洪水流出の抑制等を可能にするものである。貯留槽を構成するプレキャストブロックは形状が単純で、その組み合わせの容易さと自由度が高い。さらに現場打ちコンクリートと組み合わせることで、複雑な構造にも柔軟に対処することができ、雨水流出抑制施設としての機能を十分に確保できるものである。

② 強度および安全性

設計条件を十分に満たすように構造設計が行われており、常時荷重および地震時荷重（レベル1）の作用に対して必要な構造耐力が確保されている。また変形、脱落、沈下等に対しても十分検討されている。

③ 耐久性

材料および構造の面において、耐久性を考慮した対策がなされている。

④ 維持管理性

維持管理を容易かつ確実にを行うために、点検孔、スクリーン、内部通路等を必要箇所に設置するとともに、維持管理基準を設けている。

5. 留意事項および付言

① NT式I型雨水貯留槽の製造にあたっては、適正な品質管理のもとで行うこと。

② NT式I型雨水貯留槽の設計、施工および維持管理にあたっては、評価編および資料編に示す設計方法、施工方法および維持管理方法に基づいて行うこと。